

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	11 行政評価の実施				重要度	A		
番号・取組事業名	11001	施策評価	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	020100	企画部 企画調整課	責任者	飯田 晃一	担当者	高橋		
取組年度	H28	～	H32					
効果	その他改善							
最終目標	総合計画に即して資源配分(P)し、各部門が着実に取組を行い(D)、その結果進捗状況等を管理し(C)、その状況に応じて配分を見直す(A)というPDCAマネジメントサイクルを機能させること。 各取組に対して、成果指標を設け、それについて施策評価を行い検証する。この各取組ごとの成果指標の達成率を向上させることを目標とする。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	サマーレビューの実施, 市民意識調査の実施						
平成29年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う						
平成30年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う 事業の点検・評価に基づき施策の方向性等を再検討する						
平成31年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う						
平成32年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う 事業の点検・評価に基づき施策の方向性等を再検討する						
成果指標	指標名	施策に紐づく取組指標の達成度				単位	達成指標数	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		設定なし	設定なし	設定なし	中間評価の値	中間評価の値	中間評価の値
	実績値		51/88指標	50/82指標				0
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
	変更計画額	0	0	0	0	0	0	
	実績額	0	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)		取組指標110のうち、88指標を測定。 うち、達成した指標数が51指標。	取組指標110のうち、82指標を測定。 うち、達成した指標数が50指標。					

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	11 行政評価の実施				重要度	A				
番号・取組事業名	11001	施策評価	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31				
担当部署	020100	企画部 企画調整課	責任者	飯田 晃一	担当者	高橋				
	区分	取組内容・目標								
平成29年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う								
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月				
1	サマーレビュー			○						
2	総合計画管理システム改修		○							
3	サマーレビュー総括書作成				○					
4	事務事業評価・内部評価・予算編成との連携		○	○	○	○				
5	施策評価内容検討		○	○	○	○				
6	施策評価システム構築		○	○	○	○				
7										
8										
9										
10										
進捗										
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	サマーレビューを計画どおりに実施した。今年度は、最重点事業に位置付けた52事業を中心にレビューを行い、重点目標達成に向けての進捗管理を行った。「計画どおりに推進していく事業」「再検討が必要な事業」として、各事業課にコメントを発信。推進すべき事業は、着実に成果をあげられる量の資源配分がなされるよう、関係各課との協議を行った。					
進捗・実績										
	年度末	成果指標名	施策に紐づく取組指標の達成度		計画値	単位 設定なし	達成指標数	実績値	単位 50/82指標	達成指標数
達成状況【成果】		その他	コメント	①前年度に最重点事業として位置付けた事業を中心にヒアリングを実施。事業内容や実施状況等を事業単位で点検・評価し、平成30年度の重点的に実施すべき事業を47事業決定した。 ②その最重点事業がどのような理由で実施されているか、事業が順調に進展しているかどうかなどを、できる限り数値化し、サマーレビューブックで「見える化」した。 ③施策評価は、先進他市の事例を調査・研究した。						
進捗状況【活動】		計画どおり								
計画変更(次年度以後)		取組内容	無	コメント						
	計画値	無								
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする							
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	これまでのサマーレビューの結果等については、今後の施策評価に反映するなどして、適切な進行管理をはじめ、より効果的、効率的な施策推進のために活用されたい。						
	方向性	取組み強化								

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	11 行政評価の実施					重要度	A		
番号・取組事業名	11002	事務事業の見直しの推進		作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課		責任者	飯田 晃一	担当者	行政改革推進担当		
取組年度	H28	～	H32						
効果	歳入増加		歳出削減	その他改善					
最終目標	<p>・事務事業シートの活用 各課の事務事業について、事業実施の有効性や効率性の視点から見直しを進める。 事務事業シートを通じて職員にPDCAサイクルの考え方を定着させるとともに、事務改善の意識を醸成する。また、事務事業シートを次年度予算の査定や総合計画の進捗管理、人事評価や組織定数管理などに活用する。</p> <p>・二次評価の実施 各事務事業の担当課による自己評価（一次評価）に加え、企画部門による内部評価（二次評価）を実施していくことで、事務事業の見直しの実効性を高める。評価結果は、予算や事務事業の改廃・再構築等に反映させることで、更なる事業の見直しを進める。</p>								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	<p>・事務事業シートを作成し、定期的に自己評価を行うことでPDCAを意識させ、事務改善の意識醸成を図った。</p> <p>・14事業に対して内部評価を実施し、事務事業の見直しを進めた。</p>							
平成29年度	実施	・事務事業シートの作成、活用・行政内部による二次評価の実施							
平成30年度	実施	・事務事業シートの作成、活用・行政内部による二次評価の実施							
平成31年度	実施	・事務事業シートの作成、活用・行政内部による二次評価の実施							
平成32年度	完了	・事務事業シートの作成、活用・行政内部による二次評価の実施							
成果指標	指標名	二次評価を実施した事業数					単位	事業	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値	20	20	20	20	20	20	100	
	変更計画値								0
実績値	14		19					14	
効果額	歳入増加	当初計画額							0
		変更計画額							0
		実績額							0
	歳出削減	当初計画額							0
		変更計画額							0
		実績額							0
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)			事業の見直しを行うことで、事務の効率化及び市民サービスの向上につながる。	事業の見直しを行うことで、事務の効率化及び市民サービスの向上につながる。	事業の見直しを行うことで、事務の効率化及び市民サービスの向上につながる。	事業の見直しを行うことで、事務の効率化及び市民サービスの向上につながる。	事業の見直しを行うことで、事務の効率化及び市民サービスの向上につながる。		

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	11 行政評価の実施				重要度	A					
番号・取組事業名	11002	事務事業の見直しの推進	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31					
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	飯田 晃一	担当者	行政改革推進担当					
	区分	取組内容・目標									
平成29年度	実施	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業シートの作成, 活用 行政内部による二次評価の実施 									
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月				
1	当該年度事務事業シートの確認			○							
2	内部評価対象事業の決定				○						
3	前年度事務事業シートの完成				○						
4	内部評価の実施				○	○					
5	当該年度事務事業の中間評価				○	○					
6	次年度事務事業シートの作成					○					
7	前年度事務事業シートの公開					○					
8	内部評価の評価結果の決定					○					
9	内部評価結果の公開						○				
10	当該年度事務事業シートの完成に向けた作成(内部評価結果に基づく取組の反映を含む)						○				
進捗											
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<p>当該年度事務事業シートの中間評価が、予算要求に間に合うよう作業の指示を行っている。</p> <p>今年度は、事務事業シートの作成・評価の運用スケジュールを一部修正し、作業負担の軽減を図った。</p> <p>内部評価の実施については、人事課と共同で時間外の削減をテーマとして、現在ヒアリングに向けて、整理を行っている。</p>						
進捗・実績											
	年度末	成果指標名	二次評価を実施した事業数		計画値	単位	事業	実績値	単位	事業	
					20			19			
		達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の事務事業については、1,036件の自己評価として公表した。 平成29年度の事務事業については、1,033件の自己評価を行っており、決算値(額)が確定した後に公表する。 平成30年度の事務事業については、平成29年度中に作成し、今後活用を図っていく。 内部評価については、時間外削減計画に基づき、必要な職員数や予算配当等を行った。今後は人事課と協力してモニタリングを実施し、時間外勤務の削減状況を確認する。 成果指標について、計画値が内部評価テーマ確定前の暫定値であり、テーマによって事業数は変動する。今年度対象テーマとした事業(所属数)全てに対して評価を行った。 						
		進捗状況【活動】	計画どおり								
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント							
		計画値	無								
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする								
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	最終目標である「事務事業シートの活用」と「2次評価の実施」により、事務改善の意識の醸成をはじめ事業の見直し、さらには予算、人事評価、定数管理への活用というところには、まだまだ繋がっていないと思われるので、さらなる取組の強化及び改善に努められたい。							
	方向性	取組み強化									